

第5回新潟 BHELP 標準コース 受講者募集案内

BHELP (Basic Health Emergency Life Support for the Public) 標準コースとは、「地域保健・福祉関連業務に従事する者が、助かった生命を守るために災害対応の標準化を理解し、多職種との共働による災害対応能力の向上に資すること」を目的としたコースです。

【コース概要】 軸は CSCAHHH

Healthcare Triage (ヘルスケア・トリアージ)

Helping Hand (手を差し伸べる)

Handover (つなぐ)

1) 講義

- ・災害医療体制の概要と医療対応原則について。
- ・避難所、福祉避難所の概要、体制構築および運営上の留意点について。
- ・避難所の環境改善に必要な情報収集のためのアセスメントシートの活用について。
- ・避難所生活により生じやすい健康問題と、その予防法について。
- ・被災地域内外の支援者との連携協力について。

2) 机上演習

講義で学習した内容を活用して、トリアージ、保健福祉的視点によるトリアージ、CSCA を意識した対応、アセスメントシートを活用した避難所の評価についての机上演習。

日 時：令和6年7月27日(土) 9:30~17:00 (受付9:00~) (予定)

場 所：新潟大学医学部共同研究棟 1階 第5講義室 (旭町キャンパス内)

講 師：日本災害医学会 BHELP 運営委員会

募集人数：24名 (募集〆切時に定員を超過していた場合には選考いたします。予めご了承ください。)

受講料：4,000円 (当日受付で徴収いたします)

募集〆切：令和6年6月26日(水) 17:00まで

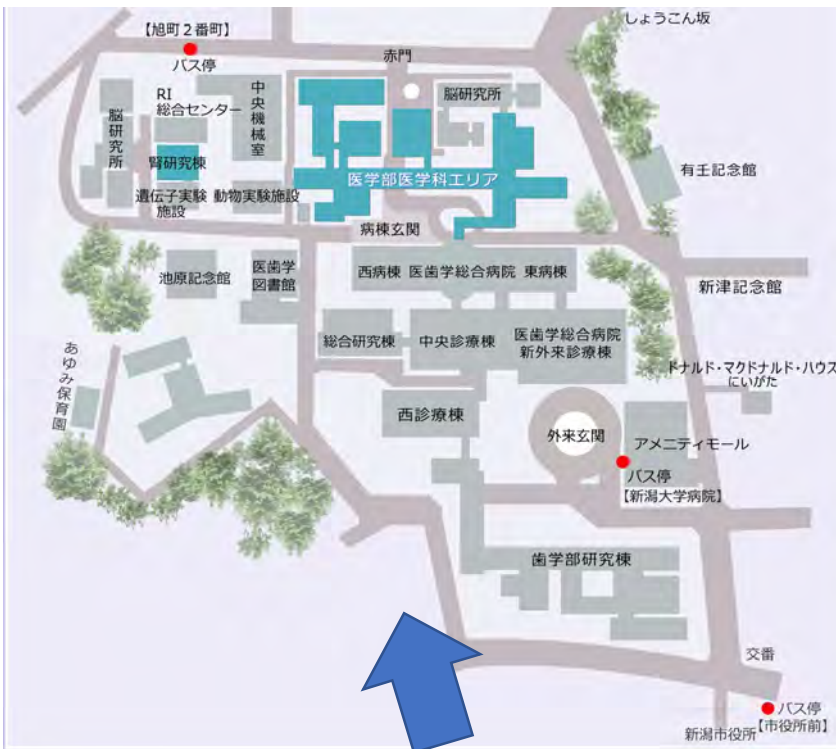
採否連絡：令和6年6月28日(金)を目途に、応募者全員に連絡します。

その他：キャンセルがあった際は、不採用の方にご連絡をする場合がございます。

応募方法：D-PORT あるいは <https://forms.gle/GMGaNFyTmhdRG3q16> からお申し込み下さい。



【会場までのアクセス】



新潟駅（新潟駅バスターミナル）からバス利用

◆『新潟大学病院』バス停で下車（外来診療棟前コート入り着）

1番のりばから出発する【新大病院線】

※1番のりばは【新大病院線】以外ではアクセスできません。

◆『市役所前』バス停で下車（徒歩8分）

6、7、8番のりばから出発する市内バス及び

10番のりばから出発する【鳥屋野線】

※10番のりばは【鳥屋野線】以外ではアクセスできません。

※6番のりばから出発する【萬代橋ライン】及び

8番のりばから出発する【女池線】は市役所分館側に停車します。

◆『旭町二番町』バス停で下車（徒歩3分）

9番のりばから出発する市内バス【浜浦町線】



【お問い合わせについて】

新潟大学医学部災害医療教育センター 小山、渡辺

Tel : 025-227-0827

E mail : disaster@med.niigata-u.ac.jp

第9回〈対面〉スフィア研修開催要項

新潟大学医学部災害医療教育センター

1. 目的

国内外の災害、復興、開発現場での活動の質をより高めるために、支援活動に関わる者が、人道・緊急支援の質とアカウンタビリティに関する国際基準の成り立ちや諸原則についての基礎的知識を身につけ、各自の活動などに活用につなげること。

2. 背景

近年、海外の大規模災害や紛争時の支援現場では、人道支援を行う際に参照すべき視点や対応方法をまとめた「スフィア基準」のような国際基準が活用され、支援の質を高める努力がなされています。

しかし、東日本大震災の支援において、こうした国際基準に基づいた活動はほとんどなさず、劣悪な環境で避難生活を送る多くの被災者に災害関連健康被害が発生し、災害関連死につながりました。その反省を受けて、現地のニーズに合った支援、現地関係者の意見の反映、脆弱な立場にある人々をさらなる危害にさらさないために、関係者への説明責任、団体間の連携や協力、スタッフの安全確保など、支援のあり方が見直され、今後の災害支援等の現場で活かされる必要があります。わが国（内閣府（防災担当））でも、平成28年4月に発表した「避難所運営ガイドライン」の中で、「人道憲章の枠組みに基づき、生命を守るための主要な分野における最低限満たされるべき基準」がまとめられた文書として「スフィア・ハンドブック」を紹介しています。さらに同ガイドラインでは、「今後の我が国の「避難所の質の向上」を考えると、参考にすべき国際基準となります。」と記載しています。

（http://www.bousai.go.jp/taisaku/hinanjo/pdf/1604hinanjo_guideline.pdf）

こうした支援の質とアカウンタビリティの向上を推進するために、2015年7月に支援の質とアカウンタビリティ向上ネットワーク（JQAN）が設立され、国際社会における人道支援諸原則、基準類の普及、提言、人材育成、発信などが行なわれています。

新潟で9回目となる本研修は、2018年に発行された（邦訳版は2019年発行）最新版の「スフィア・ハンドブック（第4版）」をテキストとします。

3. 研修の目標

- 1) 国内外の人道・開発支援、防災に関わる者が知っておくべき国際基準の一つ「スフィア基準」について、その理念と構成、使用法などを習得すること。
- 2) 参加者間のネットワークを形成すること。

4. 主催・共催・後援

- ・ 主催 新潟大学医学部災害医療教育センター
- ・ 共催 支援の質とアカウンタビリティ向上ネットワーク（JQAN）
日本ファーストエイドソサエティ（JFAS） 新潟大学 災害・復興科学研究所
- ・ 後援（申請中） 新潟県、新潟県医師会

5. 日時 2024年8月27日（火）10:00—17:00
2024年8月28日（水）9:00—16:00

6. 会場 新潟医療人育成センター <http://www.nuh.niigata-u.ac.jp/nmp/>
(新潟県新潟市中央区旭町通一番町 757 新潟大学旭町キャンパス内)

7. 内容・プログラム (予定) 講義、グループディスカッション、ロールプレイなど

1 日目 (8 月 27 日)	・ 支援の質とアカウンタビリティ (Quality & Accountability (Q&A)) とは ・ スフィア・ハンドブックの概要 (1) ・ 人道支援の必須基準 (CHS) の概要、演習
2 日目 (8 月 28 日)	・ スフィア・ハンドブックの概要 (2) ・ 演習 ・ アクションプランの作成 等

8. テキスト 「スフィア・ハンドブック(第4版)」

1997 年人道援助を行う NGO のグループと国際赤十字・赤新月運動によって、スフィア・プロジェクトという災害援助における行動の質を向上し、説明責任を果たすために必要な人道憲章の枠組みづくりと、生命を守るための主要 4 分野における技術的基準が取りまとめられました。

「スフィア・ハンドブック」はその成果物として、人道憲章、権利保護の原則、支援時のコア基準、4 分野の技術的基準が取りまとめられ、改訂されてきました。現在の最新版は 2018 年発行の第 4 版です。

(※受講者には研修当日に日本語版の冊子を配布します。)



9. 講師

- 1) 五十嵐 豪 (いがらし ごう) 特定非営利活動法人 CWS Japan
- 2) 岡野谷 純 (おかのや じゅん) 特定非営利活動法人日本ファーストエイドソサエティ 他

10. 参加対象者・人数

- 1) 対象 医療関係者、行政関係者、救護関係者 (消防、警察、海上保安庁、自衛隊など)、国内外で活動する NGO スタッフ、国内で支援活動をする NPO や団体に所属する方、災害時にボランティアスタッフとして活動する意向のある方など、人道・緊急支援に携わっている方、またはその予定がある方

- 2) 人数 27 名程度 (定員に達し次第募集を締め切ります。)

11. 参加費 10,000 円 (テキスト、資料代、郵送費など)

12. 受講者募集 2024 年 6 月 4 日 (火) ~ 2024 年 7 月 2 日 (火) 12:00

以下の URL または QR コードからご登録ください。

<https://business.form-mailer.jp/fms/dfc23562234494>



13. 採否の連絡 2024 年 7 月 5 日 (金) までにご本人宛メールアドレスに連絡します。

14. その他

- 1) 受講採用者には、研修 3 週間前をめど (前後する可能性があります。) に開催案内と一緒に事前学習をご案内します。事前学習は研修効果を上げるうえで必須としておりますのでご協力をお願いします。
- 2) 研修中の昼食は、ご自身でご用意いただきます。ご了承ください。

【本件に係る問い合わせ先】

新潟大学医学部災害医療教育センター 小山、渡辺
〒951-0810 新潟県新潟市中央区旭町通一番町 757

電話 025-227-0827 E-Mail disaster@med.niigata-u.ac.jp



WHO版PFA研修会

「心理的応急処置（PFA：Psychological First Aid）」

災害に携わる者の必要最小限の知識・技術として、「心理的応急処置（PFA：Psychological First Aid）」の基本的技術を学ぶ研修会です。座学だけでなく、ロールプレイ、ディスカッションを多く含んだ待望の**対面型研修会**です。

2024年
10月19日（土）
9:30～16:30

会場

新潟医療人育成センター
新潟市中央区旭町通1-757
（新潟大学旭町キャンパス内）

参加費無料

定員 **20**名
（予定）

心理的応急処置（PFA）とは

災害の現場で被災者を支援する私たちの多くは、心理ケアの専門家ではありませんし、目の前の問題を解決するために、私たち自身も余裕がありません。そのような被災地では、つい被災者の「心の問題」を後回しにしがちです。しかし、傷に絆創膏を貼ってあげるような、応急処置は専門家でなくとも出来るはずで

ましてや、私たち支援者自身が、不用意に被災者の心に傷をつけるような事があってはなりません。

PFAは世界保健機構（WHO）等の世界中の多くの団体が支持しています。



申込用QRコード

【申込期間】

9/2(月)～

10/1(水)正午まで



左記QRコードまたは当センターHPからお申し込み下さい。申込が完了すると、受付完了メールが届きます。確実にメールを受信できるよう、アドレスを正しくご入力ください。定員に達した場合は募集を終了します。



新潟大学医学部

災害医療教育センター

お問い合わせ先：

新潟大学医学部災害医療教育センター

担当：小山、渡辺

☎025-227-0827

✉ disaster@med.niigata-u.ac.jp

<https://www.med.niigata-u.ac.jp/disaster/>

共催



災害・復興科学研究所

Research Institute for Natural Hazards & Disaster Recovery

「人道行動における子どもの保護の最低基準」

(Minimum Standards for Child Protection in Humanitarian Action: CPMS)

オンライン 1 日研修

緊急支援の現場で耳にする「子どもの保護」の活動って？
どんなことに気を付けるべき？

「人道行動における子どもの保護の最低基準」(CPMS)は、緊急支援の現場において、子どもたちを暴力や虐待、搾取から適切に守るために2012年に制定された国際基準です。国内外の緊急事態発生時、子どもたちを暴力や虐待から守り、適切に支援を提供できるよう、あるいはそのような事態に備えられるように、本研修に参加してみませんか。緊急支援や子どもの保護に関する活動経験がない方の参加も歓迎いたします。多くの方のお申し込みをお待ちしております。

研修プログラム概要 (予定)

- 人道行動における子どもの保護 (導入編)
- CPMS の原則、子どもの保護のニーズへの対応
- 子どもの保護支援の戦略策定、質の担保、主流化とは



- 【開催日時】 2024年10月26日(土) 9:00~16:00 (受付開始 9:15~)
- 【開催方法】 Zoomを利用したオンライン開催(ミーティング)
- 【受講対象】 緊急時の子どもの保護の活動に興味のある方(緊急支援の経験がない方も歓迎します)
- 【受講定員】 25人程度(定員に達し次第募集を締め切ります)
- 【講師】 トレーナー資格を持つ講師が行います
- 【修了証】 所定の研修課程を履修した方には修了証を授与します

- 【申込期間】 2024年9月2日(月)~10月15日(火) 正午
- 【申込方法】 下記の申込フォーム、QRコード、新潟大学医学部災害医療教育センターのホームページからお申し込みください。

申込フォーム：<https://business.form-mailer.jp/fms/91510297234513>



【本研修に関する連絡先】

新潟大学医学部災害医療教育センター

Email: disaster@med.niigata-u.ac.jp

担当：小山

主催：新潟大学医学部災害医療教育センター

共催：災害時に子どもを守る最低基準(CPMS)推進ネットワーク、新潟大学 災害・復興科学研究所

「災害から子どもをまもる2日間」

日時: 2024年 **11月2日(土)** **3日(日)**

会場: 新潟医療人育成センター  新潟市中央区旭町通1-757
(新潟大学旭町キャンパス内)



災害や緊急時に子どもたちはころもからだも傷ついてゆきます。私たち大人が、子どもをまもるためにできる支援とはなんでしょうか。子どもの支援のありかたについて、12月の2日間、私たちと一緒に新潟で学びませんか?
※どちらか1日だけの参加もお申込みいただけます。

事前申込が必要です。定員に達した場合は募集を終了します。

11月2日 **土** 9:30~16:30

子どものための心理的応急処置研修会

Psychological First Aid for Children

PFA 申込



11月3日 **日** 9:30~12:30

子どもにやさしい空間(CFS)研修会

Child Friendly Spaces:CFS

CFS 申込



協力  Save the Children
セーブ・ザ・チルドレン



お問い合わせ先
新潟大学医学部災害医療教育センター 担当:小山、渡辺
☎025-227-2033 ✉ disaster@med.niigata-u.ac.jp
<https://www.med.niigata-u.ac.jp/disaster/>

共催  災害・復興科学研究所
Research Institute for Natural Hazards & Disaster Recovery



「災害から子どもをまもる2日間」

緊急下の子どもへのケア

子どものための心理的応急処置研修会

Psychological First Aid for Children (PFA for Children)

災害や緊急時に子どもと子どもをケアする大人のこころをサポートするための、こころの応急手当てを学ぶ研修会です。

※本セミナーは、WHO版PFA（一日研修・3時間コース・当センターのWEBセミナー「災害時心のケア研修会」等）を事前に受講された方の参加を推奨いたします。

11月2日 2024年
（土）
9:30～16:30

会場

新潟医療人育成センター



新潟市中央区旭町通1-757
(新潟大学旭町キャンパス内)

参加費無料

定員 **30** 名

子どものための心理的応急処置とは

災害や緊急時などの危機的な出来事に直面した子どもたちは、普段と異なる反応や行動を示すことがあります。子どものためのPFAは、そのような子どもたちのこころを傷つけずに対応するための方法です。心理や精神保健の専門家でなくても、誰もが使える「準備・見る・聞く・つなぐ」の行動原則を基本とした、子どものこころの応急手当てです。

プログラム（グループワーク含む）

1. 子どものための心理的応急処置とは
2. 危機的状況下で子どもが示す反応や行動
3. 心理的応急処置の行動原則
4. ストレスを抱えた子どもとのコミュニケーションの取り方

協力  Save the Children
セーブ・ザ・チルドレン



申込用QRコード

【申込期間】

9/2(月)～

10/15(火)正午まで



左記QRコードまたは当センターHPからお申し込み下さい。申込が完了すると、受付完了メールが届きます。確実にメールを受信できるよう、アドレスを正しくご入力ください。定員に達した場合は募集を終了します。



新潟大学医学部
災害医療教育センター

お問い合わせ先

新潟大学医学部災害医療教育センター 担当:小山、渡辺

☎025-227-2033 ✉disaster@med.niigata-u.ac.jp

<https://www.med.niigata-u.ac.jp/disaster/>

共催



災害・復興科学研究所
Research Institute for Natural Hazards & Disaster Recovery



子どもにやさしい空間(CFS)研修会

Child Friendly Spaces : CFS

災害時、子どもたちが安全・安心に過ごし、日常を取り戻すことができる場所「子どもにやさしい空間（Child Friendly Spaces 略してCFS）」。内閣府が定める避難所運営ガイドラインでは「キッズスペース」と呼ばれるこのCFSについて、設置や運営について学びます。待望の**対面型研修会**です。

2024年
11月3日(日)
9:30～12:30

会場

新潟医療人育成センター
新潟市中央区旭町通1-757
(新潟大学旭町キャンパス内)

参加費無料

定員 **30** 名

講師 (予定)

NPO法人災害時こどものこころと居場所サポート
NPO法人ワールド・ビジョン・ジャパン
公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン
公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン



World Vision
この子を救う。未来を救う。



Save the Children
セーブ・ザ・チルドレン

協力：災害時の子どもの居場所（CFS）協議会

プログラム (予定)

1. 災害時の子どもの居場所とは
2. CFS設置運営のポイント
 - ・準備編
 - ・実施編
- ※グループワーク有
3. 質疑応答・意見交換



申込用QRコード

【申込期間】

9/2(月)～

10/15(火)正午まで



左記QRコードまたは当センターHPからお申し込み下さい。申込が完了すると、受付完了メールが届きます。確実にメールを受信できるよう、アドレスを正しくご入力ください。定員に達した場合は募集を終了します。

お問い合わせ先

新潟大学医学部災害医療教育センター 担当: 小山、渡辺

☎025-227-2033 ✉ disaster@med.niigata-u.ac.jp

<https://www.med.niigata-u.ac.jp/disaster/>



新潟大学医学部
災害医療教育センター

共催



災害・復興科学研究所
Research Institute For Natural Hazards & Disaster Recovery

2024年6月4日

新潟大学医学部災害医療教育センターWEB セミナー 「オンライン版 PSEAH(性的搾取・虐待・ハラスメントからの保護)研修」開催要項

新潟大学医学部災害医療教育センター

1. PSEAH (Protection from Sexual Exploitation and Abuse and Sexual Harassment) とは

「性的搾取・虐待およびセクシャルハラスメントからの保護」は、開発・人道支援の現場において、支援を受ける立場にある人々を、支援従事者による性的搾取や虐待から守るための予防・対応の取り組みのことを指します。この研修は、機関間常設委員会(IASC)などで活用されている PSEAH 研修モジュールを基にした、PSEAH の概要を日本語で学ぶためのオンライン研修です。

2. 背景

近年の、支援現場での性的搾取・虐待の問題は、援助機関や NGO などの職員が、立場や権力を濫用することによって発生する問題です。PSEAH は、主に支援を受ける人々を性的被害から守ることを目的としますが、最近では、支援団体内部のハラスメントの予防と対応も組み合わせて考えることが主流になってきています。国連専門機関は、支援の現場で提携する NGO などの実施団体に対して PSEAH の規程、体制の整備を実施契約締結の条件とする方針を出しています。外務省 NGO 連携無償資金・ジャパン・プラットフォームなども助成金の供与団体に対して PSEAH の取り組みを求めています。

PSEAH の問題は、日本国内の災害支援の現場においても課題となっており、日本でも PSEAH の取り組みを早急に進めるため、2019 年に国際協力 NGO センター (JANIC) に PSEAH ワーキング・グループが設置されました。(参考: PSEAH WEB サイト <https://www.japanplatform.org/pseah/about.html>)

3. 研修の目標

国内外の人道・開発支援、防災に関わる者が以下の事項を習得すること

- ・ SEAH が発生する背景・要因を学び、問題解決の重要性を理解する
- ・ 適切な行動と不適切な行動を区別できるようになる
- ・ SEAH 事案が発生した際にとるべき行動がわかるようになる

4. 主催・共催・後援

- ・ 主催 新潟大学医学部災害医療教育センター
- ・ 共催 PSEAH (性的搾取・虐待・ハラスメントからの保護)ワーキンググループ
新潟大学 災害・復興科学研究所
- ・ 協力 協力支援の質とアカウントビリティ向上ネットワーク(JQAN)
- ・ 後援 (申請中) 新潟県、新潟県医師会

5. 日時

2024年11月16日(土) 9:00-16:00 (Zoom ミーティング)

※事前学習を含む全過程の修了が必要です。

※詳しくは下記 7. を参照ください。



6. 参加費 無料。ただし、インターネット接続にかかる費用は参加者で負担

7. 内容・プログラム (予定)

本プログラムは次の①～④の4要素から構成されます。①④は、受講者各自に自習いただきます。
②③は Zoom でのライブ講習とし、講義やグループワークにより、受講者同士で理解を深めます。
◆オンライン上でワークシートに記載するなどのワークがあるため、PC での参加を推奨します。

	プログラム	実施方法	目安時間	提出期限・実施日時	内容
①	事前課題	自習	1-2 時間	提出期限： 11/11 (月) 正午	・事例の分解、性的不正行為の定義、実例による導き ◆ <u>受講決定後に内容をご案内します。</u> ◆ <u>事前課題の提出ができた方のみ、ライブ講習に進むことができます。</u>
②	ライブ講習 1 (午前)	Zoom (PC 推奨)	3 時間	11/16 (土) 9:00-12:00	講義およびグループワーク ・オープニング ・力関係の解明、性的不正行為
③	ライブ講習 2 (午後)	Zoom (PC 推奨)	3 時間	11/16 (土) 13:00-16:00	講義およびグループワーク ・被害者の視点、声を上げる ・まとめ、質疑応答
④	事後課題	アンケート	—	提出期限： 11/19 (火) 正午	◆①～④の全過程を修了されると、修了証が発行されます。

8. 講師

尾立 素子 (おだち もとこ)	特定非営利活動法人 ADRA Japan
工藤 晴子 (くどう はるこ)	神戸大学大学院国際文化学研究所
柴田 裕子 (しばた ゆうこ)	人道支援コンサルタント

9. 参加対象者・人数

対象 医療関係者、行政関係者、救護関係者 (消防、警察、海上保安庁、自衛隊など)、国内外で活動する NGO スタッフ、国内で支援活動をする NPO や団体に所属する方、災害時にボランティアスタッフとして活動する意向のある方など、人道・緊急支援に携わっている方、またはその予定がある方

人数 24 名程度 (定員に達し次第募集を締め切ります)

10. 受講者募集 2024 年 9 月 2 日(月)～2024 年 10 月 15 日(火) 正午
以下の URL または QR コード、当センターHP からご登録ください。
<https://business.form-mailer.jp/fms/8805ea95234515>



11. 採否の連絡 2024 年 10 月 18 日(金)までにご本人宛メールアドレスに連絡します。

【問い合わせ先】

新潟大学医学部災害医療教育センター 担当：小山、渡辺
電話 025-227-0827 E-Mail disaster@med.niigata-u.ac.jp